

船橋税務署団体長会 会長賞

私たちができる事

千葉日本大学第一中学校

第三学年 堀家 碧葉

今年の天気は大荒れで、病院に救急搬送される人も多くいたというニュースを見た。たしかに今年は、台風による豪雨や土砂災害、脅威的な猛暑日が続き、熱中症になって救急搬送される人のニュースをよく見た。もちろん救急車の数も足りなくなるだろうし、救急車を運転する人も足りなくなるだろう。そのため、医療機関の人たちは増車や増員をするのだろう。しかし増車や増員をするお金はどこからくるのかと思いついた結果、私たちが生活するなかで払っている税金でまかなわれていることがわかった。ただ、税金を使っているのは医療機関だけではない。他に、ゴミの処理や私たち学生の教育のためにも使われている。税金でまかなわれているものは、自分達の生活に必ずしもと言っているほど必要なものばかりである。しかし、これ以上税金

でまかなうものが増えてしまえば、補うために消費税をあげていけないといけないことになる。そこで私が考えたことは、食品ロスを減らしていくことだと考えた。なぜなら、食品ロスを含むゴミの処理にも税金が含まれており一年間で二兆二千五百億円以上使われている。少しでも食品ロスを減らせば、税金を他の税金で補っている所に足せ、環境問題にも貢献できると考えたからだ。学校の昼食の時間に食べるお弁当や、給食を残さず食べたり、賞味期限内に食べられる量や、自分が必要な量だけにするだけでも、たくさん食品ロスを減らすことができ、食品ロスによるゴミの処理を税金ですることが少なくなることができる。他にも不必要に物を買わない、捨てずにリサイクルすることも税金によるゴミの処理は、少しずつ減らすことが出来る。私たちの生活を、支えてくれる税金を必要な

ことに使うことで世の中を生活しやすい場所にしていくことを学んだ。
最後に、今日の作文を通して一つ思ったことがある。税金は様々なことに使われて生活を支えていることに感謝して、税金に貢献出来る一人になろうと思った。